

第14回 遠山藤原学校

—長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ—

特集：遠山郷で里山に遊ぶ2日間 —10月末：遠山郷・秋の芸術祭—

(10月2日増補)



研修日程：2010年10月30日（土）・31日（日）の2日間

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

研修協力：遠山郷観光協会

< 1、研修の内容 >

このたびは、第 14 回遠山藤原学校の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつと言われています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山郷の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。遠山郷の人たちはとても人情味溢れた人たちで、特に都会の人たちとの交流が大好きです。そのため山村にありがちな閉鎖的で暗い雰囲気ではなくて、底抜けに明るくて建設的な雰囲気を、ここを訪れるみなさんに感じていただくことができます。特にこの研修では夜の懇親会に地元の有志をお招きして、共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、とても楽しく毎回行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

3年前から始まった遠山藤原学校は毎年、参加者が増えていまして、今年は3月から12月までの毎月開催となりました。そして今年のテーマは「遠山郷の里山に遊ぶ2日間」です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことです。里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。そこで今回の研修では里山の魅力をみなさんに味わっていただき、里山を中心にした日本の原風景を堪能していただきます。そして2日目の午後には現地で、藤原直哉が「21世紀の科学と精神世界」というタイトルで講演を致します。

ちなみに、今年12月までの毎月の予定は以下のようになっています（見学や体験の内容は地元、講師の事情や天候によって変更の可能性あり）。すべて土日です。

11月27・28日：遠山郷の紅葉狩り

紅葉狩りウォーキング＋遠山郷ミニ観光＋畑作業＋藤原直哉講演「2011年を考える」

12月4・5日：遠山郷の霜月祭り

遠山郷の祭り、国の重要無形民俗文化財・熊野神社の霜月祭りに参加

以下、体験研修の概要をご紹介します。

まず、1日目は12時20分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきます。ここまで電車でお越しの方は、JR飯田線の平岡駅からスタッフが車でお迎えいたします。なお当日東京からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋で飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。

ここで「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温かみがあり

ます。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといっていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合していただきからみなさんに自己紹介をしていただきます。それから地元の若者が経営するレストラン**食楽工房 元家(げんや)**にて昼食となります。このレストランは地元の元気な若者が経営しているレストランで、地元の食材を生かした創作料理を多数つくっています。遠山郷で最近注目の場所でもあります。

昼食後は和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道152号線・**秋葉街道**の宿場町、**和田宿**を歩いて通って、この地域を治めていた**遠山氏**の菩提寺、**龍淵寺**に行きます。そして境内に沸く**観音霊水**をいただきます。観音霊水は江戸時代に徳川氏に滅ぼされたこの地域の豪族、遠山氏の居城に4百年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、カルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い、すばらしい名水であることがわかり、最近では地元や近郊の方はもちろんのこと、東京や大阪から百リットルも2百リットルもお水を汲みに来る方がおられます。こういう硬水は味にクセが強いことが多いのですが、観音霊水は硬水でありながら大変口当たりがよく、特にコーヒーや紅茶にして飲むとおいしく、また日持ちが大変良いので、非常用のお水としても汲みに来る方が絶えません。また境内には樹齢5百年の**観音大杉**があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。

そして観音霊水の隣にある「**殿町の茶屋**」に行きます。ここは地元の女性が経営しているお饅頭屋さんで、名物の**ふじ姫饅頭**はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの2種類の饅頭が8個入って千円のふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物を接待してくださり、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

それから近くにある地元の遠山郷土館「**和田城**」に寄って、遠山郷の歴史と遠山郷に伝わる「**霜月祭り**」というお祭りのことを簡単に勉強していただきます。霜月祭りとは国の重要無形民俗文化財に指定されているお祭りで、毎月12月に遠山郷一帯の神社で開かれます。神社の社殿のなかに据えた釜に湯をたぎられて、全国からいらっしゃる神様にお湯を差し上げ、そののち、地元の神様をお呼びして神様と人が楽しく戯れるという、とても珍しいお祭りです。その起源は平安時代とも室町時代ともいわれますがよくわかりません。ただそのなかにかつてこの地を治めていて、徳川氏に滅ぼされた**遠山氏**の一族の霊を慰める祭りが組み込まれています。

そして木沢地区に向かいます。途中、小道木(こどうき)地区で遠山川の河原に下りて散策をしたいと思います。ここには河原に埋まっている**埋没木**があります。埋没木は今から1300年ほど前に一瞬の山崩れで埋没してしまった、当時の樹齢数百年のヒノキやケヤキの立ち木が近年露出したものです。ヒノキなどは今でもヒノキの香りが漂い、古代の木の命をそのまま感じるすることができます。さらにこの地区には、遠山郷の霜月祭りが開催される**熊野神社**があります。実は熊野神社の拝殿の前の地面に手をかざすと、不思議と気を感じます。それが何に由来する気かはわからないのですが、とにかく**気の出る神社**です。

それから遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設、**旧木沢小学校**に向かいます。旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在でも残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が**木沢地区活性化推進協議会**という団体をつくって木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山郷の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である**遠**

山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、交流会、映画の撮影などがたびたび開かれていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に遠山藤原学校の事務所があり、その隣には、遠山藤原学校観光農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて2年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしている場所です。今回はここで遠山藤原学校スタッフのリードで、農作業実習を行っていただきます。農作業はみんなで作るととても楽しいものです。ちょうど秋野菜が本格的に育っている頃ですので、みんな楽しく実習ができると思います。遠山郷ののどかな里山のなかに広がる観光農園で、自然と触れ合う楽しいひとときをお過ごしください。

作業のあとは、まず、本日のお宿、かぐら山荘にチェックインしていただきます。このお宿はきれいなロッジ風の建物で、観光、商用など、多くの方が集まる人気のお宿です。その後、お宿に隣接する遠山温泉郷かぐらの湯にお入りいただきます。かぐらの湯は地元で沸く温泉で、源泉温度42.5度の全国でも珍しい高濃度塩化物温泉（ナトリウム・カルシウム塩化物温泉）です。大変豪快な露天風呂もあり、今日一日の疲れを遠山の気がみなぎった温泉でゆっくりと癒してください。この地域は日本列島を東西に走る中央構造線という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉で、ファンが増えています

夕食兼懇親会は、「味ゆーらく」です。この味ゆーらくの料理長は京都で日本料理店を経営されておられた方で、遠山郷が好きになってアイターンされた方です。またここには昨年度まで当社の社員だった荒井茂樹が社員として厨房で働いております。最近はこうして遠山郷に移り住んで仕事をする人が少しずつ増えてきました。

そして夕食兼懇親会の会場で、中京地区を中心に大活躍している若手ジャズ演奏家グループeN（エヌ）のみなさんによるジャズコンサートを聴いていただきます。新しい時代の風が吹き抜けていくなかで、遠山郷にも若者が集まりつつあります。ぜひ、遠山郷・秋の芸術祭、第1部は、遠山郷の雄大な気のなかで演奏されるジャズをお楽しみください。

またその後は、ご希望の方を地元のカラオケスナック舞夢へお連れします。地元の方も他所から来た方も元気に歌声を響かせているところです。

二日目はお宿で朝食をいただいた後、さっそくマイクロバスで便が島（たよりがしま）へ行きます。ここは南アルプスから流れ出す遠山川の源流にある場所で、南アルプス登山の基地にもなっているところです。さらにこの一帯にはかつて遠山森林鉄道が走っていて、たくさん木材が伐採され、搬出されていました。今回は時間の許す限り便が島一帯を散策し、ちょうど紅葉が広がってくる季節ですので、自然の美しさをしっかり写真に収めたいと思います。さらに便が島へ往復する道のりの途中に、天空の里として有名な下栗の里を通ります。ここは標高1千メートルの急斜面に広がる集落で、転がり落ちんばかりの急斜面に家や畑が広がっていて、日本のチロルとも言われているところです。ここでも格好の撮影スポットがありますので、是非写真を撮りたいと思います。今回は全世界の子供たちの写真を撮って、旧木沢小学校で写真展を開催されている名古屋の写真家、水野秀彦氏に講師をお願いしています。遠山郷・秋の芸術祭、その第2部は遠山郷の美しい自然と写真です。なお、便り島への道は大雨が降ると不通になることがあります。その場合は、臨機応変に目的地を変えて、秋の美しい風景をお楽しみいただけるようにします。

なお、今回はみなさんにデジカメで写真を撮っていただきますので、どうぞデジカメと、撮った写真を保存するメモリーカードをお持ちください。またメモリーカードは個人情報保護のために、今までに撮影された写真を消したものをお持ちください。

そして昼過ぎに戻ってきて、梨本停車場で昼食です。ここはかつて遠山森林鉄道の起点が

あったところで、大量の木材が置かれていました。今は地元の活性化施設として食堂が建てられ、遠山郷に魅せられて都会から移り住んできた方が経営をされています。またご主人は鉄道と登山が趣味で、遠山森林鉄道の解説や、南アルプス方面の登山情報の提供なども行ってられます。

旧木沢小学校に到着後、午後1時半から2時45分まで空き教室で藤原直哉の講演「21世紀の科学と精神世界」を聴いていただきたいと思います。昔に戻ったように、小学生用の木の椅子にすわっていただき、講師は教壇に立ち、黒板を使い、講演をさせていただきます。さらに、その後は写真教室の講師、水野秀彦氏による写真解説です。デジカメでお撮りいただいたみなさんの写真をお預かりして、みんなで鑑賞し、講評していただきます。

また旧木沢小学校では、10月23日(土)から12月12日(日)まで、水野秀彦写真展『祈りの景』を開催しています。水野氏は昨年も旧木沢小学校で写真展を開催され、大好評を博しました。木造校舎の温かい雰囲気とぴったりの写真が並びます。

講演後は地元の方々とお時間の許す限り交流していただきたいと思います。どうぞ秋の遠山郷で、時間を忘れておくつろぎください。

そして午後3時45分に旧木沢小学校で解散。お車を道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方はそれぞれ道の駅「遠山郷」、平岡駅まで車でお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり526号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊んでいただいて、遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思っています。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2010年9月吉日
シンクタンク藤原事務所
経済アナリスト 藤原直哉



写真上より、インド・アーゾマール・ジャマ・マサジド・インド・パワナ・ラジスタンの祈りの風景、遠山郷の祈りの風景、遠山郷の祈りの風景、インド・パワナ・ラジスタンの祈りの風景、遠山郷の祈りの風景、遠山郷の祈りの風景

祈りの景

水野秀彦 写真展

旅の中で、多くの祈る姿に接した。国や宗教が違っても、祈る気持ちは変わることのない純粋な心のあらわれである。人々が求めるものは「幸せ」なのか「平和」なのか。そして今、われわれにとって「祈ること」とは。祈る気持ちは、頭の片隅に置かれたままであるような平和な時代は、まだ続いてくれるのだろうか。

今年は7年に一度の御柱祭りの年。諏訪大社、そしてここ遠山郷での御柱祭りの風景や、日本の祭りの風景を交えながら、世界各地で撮影した「祈りの風景」を展示します。

2010.10.23 [土]~12.12 [日]

初日13時より開始 最終日は13時までとなります

信州遠山郷 旧木沢小学校 入場無料

長野県 飯田市 南信濃 本沢 中央道飯田ICより車で約40km 飯田駅よりバスで75分

10/24 (日) 14:00 より 水野秀彦スライドレクチャー

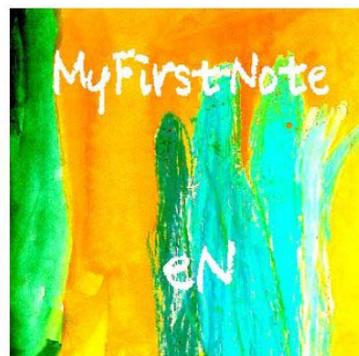
本道小学校の教室で 世界の祈りの風景を 説明を交えて上映します

後援：本沢地区活性化推進協議会 遠山藤原学校 遠山郷観光協会

水野秀彦 略歴 1962年 名古屋市に生まれる/1984年 「キネタン旅行」の頃より物理学で写真を学ぶ/1990年~93年 北アフリカ モロッコに青年海外協力隊員として赴任/1995年より中部地方を中心に、写真展を開催/1999年 音楽家 NODA GORO と共に写真集&MUSIC CD「こどもの祈り」発刊/2000年 広島県広島市で写真展「子供の祈り」及び講演/2001年 4月1日中央文化会館で「キネタン」コンサート「子どもたちによる」出演/2003年より 四日市大学コミュニティカレッジで写真講座/2008年 名古屋市内フォトサロン他で写真展「キネタンの祈り」開催/ライオン賞は子供の祈りの写真 人のいる風景、特に子供のいる風景が好きで、撮れるれば海外に撮影に行きたいと願っている。

eN(エヌ) 1st mini album「My First Note」

2010年8月20日リリース!!!



- | |
|-----------|
| 1. 春かぜ |
| 2. レインソング |
| 3. ゆれる |
| 4. 月がみてる |
| 5. たからもの |
| 6. Tiny |
| 7. 雨があがれば |

< 2、研修日程表 >

10月30日（土）

| 時間 | 予定 | 写真 |
|-------|--|---|
| 12:20 | 集合 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶 |  |
| 12:30 | 昼食 地元のレストラン「元屋」にて昼食 | |
| 13:00 | 出発 徒歩にて和田地区の観光に出発 和田宿、観音霊水、観音大杉、殿町の茶屋、遠山郷土館「和田城」など | |
| 14:15 | 出発 木沢地区に向けて出発 途中、埋没木、熊野神社を見学 |  |
| 15:00 | 到着 旧木沢小学校到着 遠山藤原学校観光農園にて農作業実習 | |
| 17:00 | 出発 和田地区に向けて出発 | |
| 17:10 | 到着 かぐら山荘到着、チェックイン。その後徒歩にてかぐらの湯へ | 遠山川 |
| 18:00 | 「味ゆ一楽」にて、夕食、懇親会、 およびジャズコンサート鑑賞 |  |
| 20:30 | 希望者は二次会に、舞夢へ | 遠山藤原学校観光農園 |
| | <u>観音霊水を汲んで帰られる方は、 ペットボトルやポリタンクを ご用意下さい。</u> |  |
| | <u>1 日目には農業作業をしますので、 汚れてもよい作業着と軍手をお持ち ください。長靴は当方で用意します。</u> | 熊野神社（気の出る神社） |
| | <u>また、2 日目には標高の高いところ に行くため、</u> 1、 <u>運動靴</u> 2、 <u>傘・カッパなどの雨具</u> 3、 <u>セーター、ジャンパー等の防寒具</u> 4、 <u>水筒かペットボトル</u> <u>を各自ご用意ください。</u> |  |
| | | 龍淵寺 |

10月31日(日)

| 時間 | 予定 | | 写真 |
|--|----------|---|---|
| 6:30 7:30 | 朝食 出発 | かぐら山荘 マイクロバスで便が島に出発 途中、下栗の里などを見学、写真撮影 |  |
| <p><u>みなさんにデジカメで写真を撮っていただきますので、どうぞデジカメと、撮った写真を保存するメモリーカードをお持ちください。</u></p> <p><u>またメモリーカードは個人情報保護のために、今までに撮影された写真を消したものをお持ちください。</u></p> | | |  |
| 12:45 13:15 | 到着 出発 | 梨本停車場、昼食 木沢地区に向けて出発 | 遠山郷の山並み |
| 13:20 13:30 | 到着 講演 | 旧木沢小学校到着、校舎内等見学 藤原直哉講演会「21世紀の科学と精神世界」 |  |
| 14:45 14:45 | 終了 講評 | 写真教室の講師、水野秀彦氏による、みなさんの写真の鑑賞と講評 | 遠山側の埋没木 |
| 15:45 | 解散 | <p>列車でお越しの方は、JR 飯田線の平岡駅までお送りします。道の駅「遠山郷」にお車を駐車の方は駐車場までお送りします。豊橋方面行特急は16:42発です。</p> <p><u>なお、悪天候、道路不通など危険な場合は写真撮影の場所を臨機応変に変更させていただきます。</u></p> |  |

< 3、公演ミュージシャンのご紹介 >

kao(vo)、渡辺ショータ(pf)、大久保寛之(b)

2007年に結成。

3年の時を経て、遂にファーストミニアルバム「My First Note」を発表。

レコード発売記念ライブは2日間で120人を動員。

日本語を大切にしたい心に直接触れる音楽として定評を集めている。

名古屋を中心に活動中の今後大注目のバンドである。



< 4. 研修費用 >

研修費用 大人 1名 20,000円
 学生 (大学生・専門学校生以下、中学生以上) 1名 10,000円
 子供 (小学生以下) 1名 5,000円
 なお、お食事とお布団の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

(1) 研修費用に含まれるもの

| | |
|--|---|
| ・ 宿泊料金 | 原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、かぐら山荘 〒399-1311 長野県飯田市南信濃和田 561 TEL 0260-34-5777 |
| ・ 食事料金 | 日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお、子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食です) |
| ・ 研修ガイド料 ・ 講演料、料金 ・ 温泉入浴料 ・ 入場料・管理費 ・ 遠山郷内交通費 ・ 旅行保険料 | 日程表に記載された藤原直哉講演会の講演料、旧木沢小学校管理費および研修ガイド料、郷土館入館料、温泉入浴料、研修中の遠山郷内の交通費、写真教室・ジャズコンサート料金、下記旅行保険料 |
| ・ 研修講師 | シンクタンク藤原事務所 藤原直哉 |
| ・ 旅行保険 | (限度額お一人様死亡障害4千万円) |

(2) 研修費用に含まれないもの

| | |
|------------|--|
| ・ 個人的性質の費用 | タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします |
|------------|--|

< 5. 研修要領 >

| | | |
|--------------|--|--|
| 募集人員 | <p>20名（最小催行人数：5名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください （FAX または郵送でお願いします）</p> | |
| 研修代金 | <p>2010年10月22日（金）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p> | |
| 取消料 | <p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p> | |
| | <p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p> | <p>大人1万円 学生5千円 子供2千5百円</p> |
| | <p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p> | <p>参加費用の40%</p> |
| | <p>出発日の前々日および前日</p> | <p>参加費用の50%</p> |
| | <p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p> | <p>参加費用の80%</p> |
| | <p>研修開始後</p> | <p>参加費用の100%</p> |
| 研修主催（お問い合わせ） | <p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0055 神奈川県小田原市久野849-10 電話 0465-32-1791 FAX 0465-32-1794 電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u></p> | |

< 6. 研修概要 >

| | |
|-----------|--|
| ・ 研修名称 | 第14回 遠山藤原学校 |
| ・ 日時 | 2010年10月30日(土)・10月31日(日)の2日間 |
| ・ 研修場所 | 長野県飯田市南信濃地区 |
| ・ 集合・解散場所 | 現地 集合：30日(土) 12:20 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館 解散：31日(日) 15:45 旧木沢小学校 <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u> |
| ・ 研修内容 | 各種見学、実習、ハイキング、講演など |
| ・ 研修講師 | シンクタンク藤原事務所 藤原直哉 |

< 7. 集合・解散場所まで/からの交通手段 (ご参考) >

| | |
|-----------------|---|
| (1) 自家用車でお越しの場合 | <p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」 (電話 0260-34-1071) 中央高速道 飯田インターチェンジから約70分。</p> <p>解散場所： 長野県飯田市南信濃木沢 旧木沢小学校 中央高速道 飯田または松川インターチェンジまで 約1時間。または、兵越峠経由、東名高速道浜松インターチェンジまで、約2時間半。</p> |
| (2) 電車でお越しの場合 | <p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:59 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 下車後 道の駅「遠山郷」まで車で20分 (帰り) 旧木沢小学校から平岡駅まで車で30分 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:43 ひかり526号 東京 20:10</p> |

< 8. 注意事項、および持ち物など >

- ・ 持ち物は以下のご用意をお願いいたします。
 - (1) デジカメ (2) デジカメのデータを入れるメモリーカード (3) 農作業用の服装・軍手、
 - (4) 運動靴、(5) 傘・カッパなどの雨具、(6) セーター・ジャンパー等の防寒具、
 - (7) 水筒かペットボトル (観音冷水も汲んでいただけます)
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ 乗り物酔いをご心配の方は、酔い止め薬を服用されることをお勧めします。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

申 込 書

第14回 遠山藤原学校 10月30・31日

ご記入日： 年 月 日

どちらかを選択してください ・ 自家用車でご参加 ・ 電車でご参加

| | | |
|---------------------|----------|-------------------------------|
| フリガナ | 性別 | 男 ・ 女 |
| お名前 | 生年 月日 | 明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳) |
| 弊社お客様番号 (おわかりになる場合) | | |
| フリガナ | 性別 | 男 ・ 女 |
| お名前 | 続柄 | 生年 月日 |
| | | 明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳) |
| フリガナ | 性別 | 男 ・ 女 |
| お名前 | 続柄 | 生年 月日 |
| | | 明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳) |
| フリガナ | 性別 | 男 ・ 女 |
| お名前 | 続柄 | 生年 月日 |
| | | 明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳) |

■ ご連絡先について

ご自宅 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。

※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。

| | | | |
|-------------|--|-----|-----------------|
| 会社名 学校名等 | 部署： _____ 役職： _____ | | |
| ご連絡先 住所 | 〒 _____ | | |
| TEL | () _____ | FAX | () _____ |
| 携帯電話 | 緊急時 連絡可・不可 | | |
| 電子メール | @ _____ | | |
| 喫煙の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small> | | |

●その他ご希望等ございましたらご記入ください。

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子 〒250-0055 神奈川県小田原市久野849-10
TEL 0465-32-1791 E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先：0465—32—1794 ↑